

Ⅶ 社会教育（生涯学習）

1 社会教育施策の重点

現代社会の情報化、国際化、少子高齢化、価値観等の急速な変化に対応するためには、自ら課題を見つけ考える力、柔軟な思考力、身に付けた知識や技能を活用して課題を解決する力及び他者との関係を築く力に加え、豊かな人間性等を含む総合的な「知」が必要とされる。また、自立した個人やコミュニティ（地域社会）の形成及び持続可能な社会の構築への要請等を踏まえ、生涯学習振興の必要性が高まっている。

このため、平成 28 年 3 月に策定した「三島市生涯学習推進プラン」に基づいた総合的な生涯学習の推進を図り、多様な学習機会や情報の提供（各種講座・イベントの充実、人材の活用、家庭教育の支援）、学習環境の整備・充実（生涯学習

センターや地域に根ざした公民館の活用）及び社会教育活動の活性化（公民館利用団体や社会教育関係団体の育成・支援）に取り組んでいく。

また、将来の三島を担っていく者として、豊かな感性と幅広い視野を持った青少年の健全育成を推進していくため、青少年活動の推進（青少年活動への支援、青少年リーダーの養成及び青少年指導者の育成）、青少年を育む地域づくり（健やかな成長のための環境づくりの推進、相談体制の充実、青少年育成環境の整備及び学校・家庭・地域の連携協力推進）及び青少年活動の場の整備（箱根の里の有効活用、活動の機会と場の提供等）に取り組んでいく。

2 委員会・団体の構成

(1) 各委員会等の構成

平成 30 年 4 月 1 日現在

名称	構成人員	任期	主たる事業
社会教育委員	15	2	社会教育事業の審議
青少年問題協議会	34	2	青少年の指導、育成、保護に関する総合施策の樹立、調査審議
青少年相談室運営懇話会	10	2	青少年相談室の運営に関する協議
補導指導員	157	2	青少年補導、青少年健全育成
公民館運営審議会	11	2	公民館事業の審議・検討
箱根の里運営協議会	15	2	箱根の里活動全般審議
三島市民生涯学習センター運営委員会	10	2	三島市民生涯学習センターの円滑な運営及び生涯学習の推進に関する調査審議

(2) 三島市社会教育委員

任期 平成 29 年 12 月 1 日～平成 31 年 11 月 30 日(平成 30 年 4 月 6 日現在)

役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分
委員長	足立 博道	学識経験者	委員	小藪 余志美	学識経験者
副委員長	高橋 徹司	家庭教育	委員	榎山 好実	社会教育団体
委員	後藤 素行	学識経験者	委員	井佐 明美	社会教育団体
委員	本持 信慈	学識経験者	委員	伊藤 喜美子	社会教育団体
委員	渡邊 靖乃	家庭教育	委員	大澤 秀子	社会教育団体
委員	永倉 えり子	学識経験者	委員	大房 正征	学識経験者
委員	前田 磨	学識経験者	委員	原 芳之	学校長
委員	山下 聖秋	学識経験者			

3 平成 30 年度の重点事業

(1) 生涯学習・社会教育関係

- ア 生涯学習情報の充実
- イ 各種講座・イベントの充実
- ウ 社会教育関係団体などの育成・支援
- エ 地域連携活動の支援
- オ 市民生涯学習センターなど社会教育施設の機能の充実

(2) 青少年健全育成関係

- ア 「少年の船」「ジュニアリーダー研修」「青少年指導者養成事業」等の実施を通じた青少年リーダーの育成
- イ 青少年健全育成会との連携による市民総ぐるみでの青少年の育成と非行化防止
- ウ 青少年相談室の充実と相談・補導事業の強化
- エ 児童センターでの講座やイベントなど、児童を対象とした事業の開催
- オ 学校、地域、家庭の連携体制の構築、協働の推進

(3) 女性教育関係

- ア 女性相互の情報交換、交流と社会参加の促進支援
- イ 女性団体の自立促進支援

4 生涯学習事業

(1) 生涯学習情報の提供

- ア インターネットによる学習情報、行事予定、行政情報、施設案内等の情報の提供
- イ 生涯学習情報宅配便（リリエムクラブ）
- ウ 生涯学習指導者登録・紹介（ハロー教授バンク）
- エ 生涯学習推進員活用事業

(2) 夏休みキッズランドの開催

夏休み中の子どもたちに体験的な学習の機会を提供し、健全な心身の育成に努めることを目的に実施した。

- ア 開催日 平成 29 年 8 月 6 日（日）
- イ 会場 三島市民生涯学習センター

3 階・5 階フロア（参加者 357 人）

- ウ 内容 工作教室・紙芝居と昔遊び・昆虫体験・折り紙とフェルトなど

(3) 三島いきいきカレッジの支援

多様な学習ニーズに応え、講師・スタッフ・受講生が共に協力し、自主的に運営する生涯学習講座として、講師による各種講座を実施した。

- ア 開催期間 平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月
- イ 場所 三島市民生涯学習センター
- ウ 内容 講座数 29 講座 受講生 668 人

5 生涯学習推進事業

三島市民生涯学習センター開館 20 周年記念事業として「えんとつ町のペペル」展と原作者西野亮廣トークショーを実施した。

(1) 「えんとつ町のペペル」展の開催

- ア 開催日 平成 30 年 1 月 18 日（木）～25 日（木）
- イ 会場 三島市民生涯学習センター 市民ギャラリー

ウ 来場者 5,889 人

(2) 西野亮廣トークショーの開催

- ア 開催日 平成 30 年 1 月 20 日（土）
- イ 会場 三島市民文化会館 大ホール
- ウ 来場者 850 人

(3) 生涯学習功労者表彰

生涯学習の推進に貢献された方を生涯学習功労者として表彰した。

- ア 表彰日 平成 30 年 2 月 3 日（土）
- イ 会場 三島市民生涯学習センター 講義室

ウ 表彰者 個人 1 人、4 団体

(4) 生涯学習まつりの開催

市民生涯学習センターを活動の場とする生涯学習課関連団体の学習成果発表と団体相互の交流を図ることを目的に実施した。

ア 開催日 平成 30 年 2 月 3 日 (土)・4 日 (日)

イ 会場 三島市民生涯学習センター
全館 (参加団体 18 団体、来場者 3,860 人)

沢地幼稚園	健康づくり講座等	3.7	159
しらゆり幼稚園	健康づくり講座	2	44
ピーターパン幼稚園	食育講座	2.5	18

6 家庭教育事業

(1) (前期) 幼児期の家庭教育セミナー

幼児期における家庭教育の理解やしつけの基礎を学ぶことを目的に実施した。

ア 開設期間 平成 29 年 6 月 23 日 (金) ~ 平成 29 年 7 月 28 日 (金)
全 5 回 (7.5 時間)

イ 会場 三島市民生涯学習センター

ウ 受講者 市内に住む幼児 (3~5 歳) をもつ保護者 14 人

(2) (後期) 幼児期の家庭教育セミナー

幼児期の子をもつ親の子育て、子育て、親育ちをサポートすることを目的に実施した。

ア 開設期間 平成 29 年 10 月 3 日 (金) ~ 平成 29 年 11 月 12 日 (日)
全 4 回 (6 時間)

イ 会場 三島市民生涯学習センター

ウ 受講者 市内に住む幼児 (3~5 歳) をもつ保護者 14 人

(3) 幼稚園家庭教育講座

開催幼稚園	内容カテゴリー	時間数	参加者数
東幼稚園	生活に生かせる講座	1.5	31
南幼稚園	健康づくり講座	1.5	13
北幼稚園	保護者の仲間作り講座	2	35
錦田幼稚園	健康づくり講座	3	42
坂幼稚園	健康づくり講座	1.5	10
松本幼稚園	健康づくり講座	1.5	8
大場幼稚園	保護者の仲間作り講座	2	15
旭ヶ丘幼稚園	健康づくり講座	2	23

(4) 小中学校家庭教育学級

開設学校	内容カテゴリー	講座回数	参加者数
東小学校	家庭教育相談等	8	76
西小学校	食育講座等	2	35
南小学校	保護者の仲間作り講座等	2	49
北小学校	家庭教育講座等	3	119
錦田小学校	家庭教育講座等	3	45
徳倉小学校	家庭教育講座等	3	31
坂小学校	家庭教育講座等	2	17
佐野小学校	保護者の仲間作り講座等	2	46
中郷小学校	食育講座	1	14
沢地小学校	健康づくり講座等	6	59
向山小学校	保護者の仲間作り講座等	7	71
北上小学校	健康づくり講座等	1	60
山田小学校	家庭教育講座等	3	61
長伏小学校	家庭教育講座等	3	427
錦田中学校	講演会等	2	571
南中学校	健康づくり講座等	2	48
北中学校	家庭教育講座等	5	239
中郷中学校	健康づくり講座等	2	14
北上中学校	食育講座等	1	18
中郷西中学校	食育講座等	2	20
山田中学校	保護者の仲間作り講座等	3	66

(5) お父さんの子育て講座

家庭教育における父親の役割の重要性・責任を自覚し、子どもとふれ合い、父子の絆を深める機会として実施した。

- ア 開催日 平成 29 年 9 月 10 日 (日)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 受講者 市内に住む就学前の幼児 (4~6 歳) とその父親 (保護者)、父親 26 人、子ども 26 人

(6) スマイル子育て講座「夏休み親子クッキング教室」、「親子お菓子作り講座」

親子が共有の体験を持つとともに、円滑な親子関係を築くためのきっかけづくりを目的に本講座を開設した。

- ア 開催日 第 1 回：平成 29 年 8 月 9 日 (水)
第 2 回：平成 30 年 3 月 4 日 (日)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 受講者 市内に住む小学 1 年生以上の子とその保護者、大人 22 人、子ども 23 人

7 成人教育事業

(1) みしま教養セミナー

ア 開催期間

日本大学関連コース 平成 29 年 6 月 21 日 (水)~平成 29 年 7 月 28 日 (金)
順天堂大学関連コース 平成 29 年 9 月 14 日 (木)~平成 29 年 10 月 12 日 (木)

- イ 会場 三島市民生涯学習センターほか
- ウ 参加者 30 歳以上の市内在住・在勤者 145 人

開設テーマ	学習方法	回数	参加人数 (人)
日本大学関連コース	講義・野外学習	6	69
順天堂大学関連コース	講義・野外学習	5	76
計		11	145

8 女性教育事業

市内で活動・学習している女性相互の交流を通して女性の意識向上を図るため、いきいき友の会などの女性団体の自主的な活動を支援するとともに、女性懇話会や女性グループ交流会を開催し、団体間の交流や情報交換の機会を提供している。

また、女性教育として、婦人学級を開設し、各種学習会を通して資質向上を図った。

婦人学級 (3 学級)

名称	開設場所・学習テーマ	時間数	学級生数
西婦人学級	開設場所 西地区コミュニティ防災センター	55	42
	学習テーマ -		
南婦人学級	開設場所 南地区コミュニティ防災センター	52	70
	学習テーマ 「動けるうちに 良く遊び 良く学ぶ 明るく、楽しく、元気よく！」		
中央女性学級	開設場所 三島市民生涯学習センターほか	40	252
	学習テーマ 『学び合い 友と語らい 新たな出発』~せせらぎのこの街で~		

9 青少年対策事業

青少年が「誇り」と「責任」と「自覚」をもって社会に役立つたくましい人間に成長できるよう、学校、関係団体、地域住民等の協力を得ながら青少年の健全育成を推進した。

(1) 青少年問題協議会

市議会、関係行政機関、学識経験者等で構成され、青少年健全育成に関する総合的施策について審議並びに連絡調整を図る青少年問題協議会を年 2 回開催している。

青少年問題協議会会長及び委員 任期 平成 32 年 3 月 31 日まで

【会長】 豊岡 武士（三島市長）

（平成 30 年 6 月 30 日現在）

【委員】

	氏 名	役 職		氏 名	役 職
1	鈴木 文子	三島市議会議長	18	嶺岸 奈緒美	三島市公私立保育園保育士会 つくし会会長
2	大石 一太郎	三島市議会福祉教育委員長	19	篠原 誠	三島市子ども会連合会会長
3	高橋 敏文	三島警察署署長	20	白鳥 りき子	三島市中央女性学級運営委員
4	関 義幸	三島市教育委員	21	長谷川 裕見子	三島市女性懇話会代表
5	足立 博道	三島市社会教育委員長	22	江島 照美	放課後児童クラブ保護者会代表
6	小塚 英幸	三島市校長会会長	23	前田 恵美子	いきいき友の会会長
7	齊藤 浩幸	県立三島北高等学校校長	24	杉浦 美和	三島市地域活動連絡協議会 会長
8	小川 伸吾	県立三島南高等学校校長	25	土山 和雅	ボーイスカウト三島地区 地区協議会長
9	川口 洋二	県立三島長陵高等学校校長	26	岩田 真紀子	ガールスカウト三島地区連絡 協議会会長
10	渡邊 武一郎	日本大学三島高等学校・中学校 校長	27	佐々木 啓太	三島市青年団体連絡協議会 副会長
11	渡邊 義信	三島市自治会連合会副会長	28	服部 光弥	三島市青少年健全育成会監事
12	瓜島 義典	三島地区保護司会会長	29	田村 憲治	三島市スポーツ少年団 副本部長
13	宮川 紀代美	三島市民生委員児童委員 協議会会長	30	西島 玉枝	三島市教育長
14	大西 武徳	三島市民生委員児童委員 協議会理事	31	三田 操	三島市健康推進部長
15	秋山 恭亮	三島市PTA連絡協議会 会長	32	荻野 勉	三島市社会福祉部長
16	小野 美智代	三島市PTA連絡協議会 母親委員長	33	鈴木 昌幸	三島市教育推進部長
17	鍋田 陽子	三島市交通安全母の会連合会 会長			

(2) 青少年相談室

青少年相談室では、日常業務として、相談員・指導員常時 6 人（嘱託職員）による児童・生徒の電話及び面接相談、問題をもつ青少年の継続指導、その他青少年の健全育成に必要な事業を行っている。

また、補導活動として補導指導員（157 人）の協力のもと市内盛り場を中心に街頭補導を実施している。

相談室の運営に関しては、教育・民生・警察等から選出された 10 人の委員により構成される運営懇話会において協議し、円滑で効果的な運営を図っている。

ア 三島市青少年相談室運営懇話会委員

任期 平成 32 年 3 月 31 日まで

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

	氏 名	役 職
1	西島 玉枝	三島市教育長
2	白井 幸太郎	三島市民生委員児童委員協議会 児童福祉部会長
3	石井 広美	三島地区保護司会代表
4	高橋 徹司	三島市社会教育委員副委員長
5	小野 美智代	三島市PTA連絡協議会 (母親委員長)
6	船木 隆弘	三島警察署生活安全課長
7	飯田 澄雄	三島市校長会代表
8	篠原 誠	三島市子ども会連合会会長
9	青木 まり子	三島警察署少年指導委員
10	鈴木 昌幸	三島市教育推進部長

イ 平成 29 年度 電話相談受付状況

74 ケース 延べ 1,278 回

ウ 平成 29 年度 面接相談受付状況

62 ケース 延べ 1,536 回

エ 平成 29 年度街頭補導活動累計

補導の種類別活動状況

	常時 補導	市街地 補導	地区 補導	計	前年度
実施回数	19	17	214	250	259
参加者数	73	170	979	1,222	1,216
注意指導数	2	22	16	40	61
(女子数)	0	7	6	13	21

オ 有害図書追放運動

青少年にとって有害な雑誌等の図書が、特に自動販売機から自由に入手できる環境は青少年の健全育成上好ましくないため、三島市においては昭和 57 年の青少年健全育成会発足以来、まず第一に環境浄化が取り上げられ、問題行動の原点となりうる自動販売機の撤去運動が活発に行われてきた。

その結果、平成 20 年 12 月末に 7 台あった自動販売機設置台数は 0 台となり、現在に至っている。

(3) 三島市青少年健全育成会

主な活動

ア 青少年健全育成セミナー

- a 日 時 平成 29 年 11 月 15 日(水)
午後 3 時から 5 時 15 分まで
- b 会 場 三島市民生涯学習センター
講義室
- c 出席者 小中高教育関係者、小中高
P T A、自治会関係者、
健全育成団体等 126 人
- d 内 容
健全育成功労者表彰 (5 個人)
講演会
演題：「青少年が生き生きと自分らしく生きるためのコーチング」
講師：平尾 賢弘 氏
(静岡県青少年育成アドバイザー・
プロフェッショナルコーチ)

イ 静岡県青少年育成会議総会

a 日 時 平成 29 年 6 月 13 日(火)
午後 1 時 30 分～ 4 時 15 分

b 会 場 静岡県青少年会館

ウ 子供・若者育成支援強調月間静岡県大会 in 島田

a 日 時 平成 29 年 11 月 18 日(土)
午後 1 時 15 分～ 4 時

b 会 場 島田市民総合施設
プラザおおるりホール

エ 啓発活動

- ・声掛け運動の実践
平成 29 年 7 月 11 日(火)、9 月 21 日(木)、12 月 15 日(金)
- ・未成年者喫煙防止啓発キャンペーン
(7 月、11 月)
- ・未成年者飲酒防止啓発キャンペーン
(4 月、11 月)
- ・のぼり旗の掲出等による「青少年の非行・被害防止強調月間 (7 月)、「子供・若者育成支援強調月間」(11 月)の啓発
- ・全市一斉あいさつ運動
平成 29 年 7 月 11 日(火)
" 9 月 21 日(木)
" 12 月 15 日(金)

10 青少年教育事業

移り変わりの激しい現代社会の中であって、青少年相互に研鑽と交流を深めるとともに青少年指導者の養成を図り、明るく住みよい郷土づくりの活動が積極的にできるよう努めた。

(1) 三島市少年の船

三島市内の中学生を対象に、航海体験や洋上研修、研修地での体験学習や交流を通し、たくましさと思いやりのある豊かな情操を養い、心身ともに健全な中学生の育成を図ることを目的に実施した。

平成 29 年度は、鹿児島県与論島で 6 泊 7 日の本研修を行う予定だったが、台風の影響で中止し、富士登山による代替研修を行った。

- ア 期間 8月25日(金)～26日(土)
(1泊2日)
- イ 研修地 富士山及び箱根の里
- ウ 参加者 研修生31人

(2) 三島市少年少女発明クラブ

児童に科学技術に関する興味、関心を追及できる場を提供し、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を通して発明くふうの楽しさと創作する喜びを体得させることにより、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に実施した。

- ア 開催期間 平成29年5月～平成30年3月(全23回)
- イ 会場 三島市民生涯学習センターほか
- ウ クラブ員 市内在住の小学4年生～6年生 55人
- エ 指導担当 三島市少年少女発明クラブ実行委員会

(3) みしまっ子体験塾

三島の歴史、環境、食などの資源を生かしたさまざまな体験活動を通して、郷土に親しみ、健やかな心身を育むとともに、学校や学年の異なる集団活動の中で、仲間づくりや継続して諸活動へ参加する意欲を高めさせることを目的に実施した。

- ア 開催期間 平成29年6月～平成30年2月(全6回)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター、山田川自然の里 ほか
- ウ 参加者 市内在住の小学4年生～6年生 21人

(4) 学校週5日制対応事業(ジュニアプラザ)

中学生・高校生の校外における活動として休日にさまざまな体験ができる機会を提供することにより、多分野に興味関心を持つきっかけの場とする。また、体験を通して教養を身につけ、同年代の参加者同士の交流を深め、

少年育成を図ることを目的として実施した。

- ア 開催期間 平成30年2月(第1回)
※第2回は開催要件人数に満たず中止
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 内容 和菓子づくり
- エ 受講者 市内在住又は在学の中学生及び高校生・計3人(中学生2人、高校生1人)

(5) 中学生リーダー研修(ジュニアリーダー研修)

中学生を対象に、野外学習や宿泊研修等全5回の研修を実施し、仲間との連帯意識を高め、自主性と実践性を培い、社会活動へ参加できるリーダーの育成を図った。

- ア 開催期間 平成29年6月～平成30年3月(全5回)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター、静岡県立焼津青少年の家、静岡県立朝霧野外活動センター ほか
- ウ 参加者 市内在住又は在学の中学生 27人
(男13人、女14人)
- エ 指導担当 ジュニアリーダー研修実行委員会

(6) 高校生リーダー研修(アドバンスドジュニアリーダー研修)

中学生リーダー研修を終了した高校生を対象に、ジュニアリーダー研修でのリーダー活動、ボランティア研修、自然体験活動等を実施し、自己の確立や資質の向上を高め、社会参加活動に自主的・意欲的に取り組むリーダーの育成を図った。

平成29年度参加8人(男3人、女5人)

(7) 青少年指導者養成事業(「三島人」)

将来、青少年活動の指導者として活躍できる人材を養成するため、中学生、高校生及び成人を対象に、指導者として必要な知識や技

術など実践力を養う研修を実施した。継続的な人材育成を図るため、平成 23 年度以降は初級認定を持つ中学生も対象としている。

ア 開催期間

平成 29 年 5 月～平成 30 年 3 月(全 10 回)

イ 会場

三島市民生涯学習センター、山田川自然の里、三島市立箱根の里 ほか

ウ 参加者

市内在住又は在学の中学生及び高校生並びに成人 計 11 人(男 7 人、女 4 人)

エ 指導担当 三島人実行委員会

**(8) 平成 29 年度「三島市中学生の主張」大会
(三島市青少年健全育成会及び三島市校長会との共催事業)**

ア 日時 平成 29 年 6 月 10 日(土)
9 時 30 分～12 時 00 分

イ 会場

三島市民生涯学習センター 講義室

ウ 趣旨

中学生が自分の考えを広く訴えることにより社会の一員としての自覚を高める契機とするとともに、市民の青少年健全育成への理解と関心を深めてもらう。

エ 人数

発表者 16 人(市内中学校 8 校から各 2 人の代表・応募数 905 人)、来場者 90 人

オ 内容

本人による意見の発表を行った。また、発表作品すべてを「わたしの主張 2017」静岡県大会(函南町で開催)の出場作品候補として推薦した。

その結果、南中学校生徒が県大会発表者に選出され、出場し、優秀賞を受賞した。

(9) 成人式

市内の新成人者を招き、成人への仲間入りを祝して記念式典を実施した。

式典第 2 部では、成人式実行委員会が「成人式、過去から見るか? 現在からみるか?」を上映した。

ア 開催日時

平成 30 年 1 月 7 日(日) 午前 11 時開式

イ 会場 三島市民文化会館 大ホール

ウ 対象者

平成 9 年 4 月 2 日～平成 10 年 4 月 1 日に生まれた者 1,018 人(男 506 人、女 512 人)(平成 29 年 11 月 30 日現在)

エ 出席者 814 人(対象者の 80%)

※住民登録外参加者を含む。

(10) 青少年団体の育成

社会教育団体へ、活動の活性化を図るための指導や助言を行った。

団体名	団体の概要	
ボーイスカウト 三島地区	代表者	土山 和雅
	対象	小・中・高 大・一般
	下部組織	7 団
	人員	480 人
ガールスカウト 三島地区連絡協議会	代表者	岩田 真紀子
	対象	小・中・高 大・一般
	下部組織	2 団
	人員	69 人
三島市青年団体 連絡協議会	代表者	松本 周
	対象	各種青年団体
	下部組織	2 団体
	人員	22 人

(11) 二市青年教育交流協議会

三島市、沼津市の 2 市の青年教育の振興を図り、青年リーダーの養成等の充実を図ることを目的に情報交換を行った。

(12) 青年団体(OWL(オウル))

青年相互の交流のほか、社会貢献活動(各種のボランティア活動、環境保全活動、青少年の健全育成活動)を積極的に行った。平成 29 年度会員 11 人

(13) 青年団体(和倶楽部)

陶芸を中心に、着付けや茶道など「和」の講座を開講し活動した。平成 29 年度会員 11 人

(14) 青年教養講座の開設(ヤングプラザ)

各種講座の学習を通して教養を身につける

とともに、心身のバランスがとれた青年の育成を図った。

ア 開催期間

平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月(5 講座)

イ 会場

三島市民生涯学習センターほか

ウ 内容

パーソナルカラーと骨格スタイリング、
クライミング、陶器作り(5 回)、
ピザ・ダッチオーブン・燻製料理、
SNS セキュリティ

エ 受講者

市内に在住又は在勤の 18 歳から 35 歳
くらいまでの人 計 99 人

(15) 三島若者元気塾の開設

将来の三島を担う元気なリーダー・人材を育成するために開講した。

ア 開催期間

平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月(全 7 回)

イ 塾長 水野 隆徳 氏

ウ 講師 社会起業大学 瀬田川 史典 氏

エ 内容

平成 29 年度は、社会起業を題材に、自らの志を見つめ直し、地域貢献を達成するまでの過程や手法を講義形式で学んだ。閉講式では、市長・塾長に各自の志と地域貢献についてのプレゼンテーションを行った。

オ 受講者 14 人

11 児童センター事業

児童に健全な遊び場・安全な居場所を提供する児童館として市民生涯学習センター内に児童センターを設置し、遊戯室・軽運動室等で、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に各種事業を実施した。また、多目的ホールや研修室等でリトミック、書き方、お菓子づくり等の各講座を開講した。

(1) キディプラザ(幼児・小学生対象の継続講座)

ア 開催講座 2 講座 各 5 回

イ 会場 三島市民生涯学習センター

ウ 参加者 66 人

(2) 児童センター例月事業

ア 年間開催数 6 回

イ 会場 三島市民生涯学習センターほか

ウ 参加者 1,236 人

(3) すくすく広場(市内在住の満 1 歳以上の未就園児とその保護者を対象とした遊び会、親子 30 組/回)

ア 児童センター 年間回数 28 回

参加組数 505 組

参加者数 987 人

イ 中郷公民館 年間回数 11 回

参加組数 104 組

参加者数 200 人

ウ 北上公民館 年間回数 10 回

参加組数 67 組

参加者数 133 人

エ 錦田公民館 年間回数 11 回

参加組数 47 組

参加者数 94 人

12 学校・家庭・地域連携協力推進事業

(1) 学校支援地域本部事業

学校を支援するため、公立小中学校に学校支援地域本部を設置し、学校が必要とする活動について地域住民の力を借りるための橋渡しをする組織である「学校支援地域本部実行委員会」を中心に、地域住民が学校支援ボランティアとして学校支援活動に取り組む体制づくりを推進している。

三島市では、平成 21 年度に錦田中学校で事業が開始されて以降、平成 26 年度に 5 校、平成 27 年度に 12 校で事業が開始された。平成 28 年度に残る 3 校でも事業が開始され、市内の全公立小中学校(小学校 14 校、中学校 7 校)での学校支援地域本部設置及び学校支援活動の実施が実現した。

活動内容

授業の補助(学習作業の支援)、放課後の学習支援、授業の講師(職業講話)、学校内の整備、環境整備(樹木の剪定、花壇の整備等)、学校行事への協力活動、登下校の見守り(スクールガード)、本の読み聞かせ など

※各校の状況に応じた活動をそれぞれ実施

この学校支援地域本部事業の枠組みの中で、大学生や地域住民等の人材を学習支援員として活用した放課後学習支援の取組として『みしま寺子屋事業』を実施している。

(静岡県「しずおか寺子屋」創出事業の委託事業として平成 29 年度から 3 か年の実施)

[平成 29 年度の実施状況]

・対象校・学年・教科、実施回数

徳倉小学校 (3 年生、算数)、23 回

北上中学校 (3 年生、数学・英語)、27 回

・学習支援員 日本大学国際関係学部ほかの大学生、地域住民ボランティア

(2) 家庭教育支援事業

すべての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、平成 27 年度から家庭教育支援員(通称「家庭教育アドバイザー」)を配置し、小中学校等において、保護者への学習機会の提供(「講座」…県教委作成家庭教育ワークシートを活用したグループトーク)や相談対応等の家庭教育支援活動を実施している。

[平成 29 年度の実施状況]

・家庭教育アドバイザー 4 人(元小中学校教員)、家庭教育サポーター 3 人

※チームとなって活動

・実施場所(機会)… 全公立小中学校、家庭教育学級、三 P 連会議、入学説明会、教頭会議

・実施回数 … 講座 15 回、相談 9 回、相談・助言 5 回、親学講座 8 回